



平成 21 年 6 月 24 日

各 位

会 社 名 JVC・ケンウッド・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長 兼 社長 兼 CEO 河原 春郎
(コード番号 6632 東証第一部)
問合せ先 取締役 兼 CFO 尾高 宏
(TEL 045-444-5232)

事業会社の社名変更および組織変更に関するお知らせ

当社は、本日付で、子会社である J&K テクノロジーズ株式会社（以下「J&K テクノロジーズ」）の社名を J&K カーエレクトロニクス株式会社（以下「J&K カーエレクトロニクス」）へ変更し、同社をカーエレクトロニクス事業の実質的な独立事業会社へと移行させるとともに、同社、日本ビクター株式会社（以下「ビクター」）、株式会社ケンウッド（以下「ケンウッド」）の各事業会社の組織再編を行いましたので、お知らせいたします。

1. 組織変更の概要

当社グループは、平成 20 年 10 月 1 日の経営統合以降、統合効果の早期実現に取り組みながら、経営環境の悪化に対処するため、収益構造改革、追加施策に取り組み、平成 21 年 3 月期末までに主な施策を完了いたしました。また、これらの取り組みによって創出した経営リソースを再配置することにより、今後の成長に向けた施策も開始いたしました。

平成 22 年 3 月期は、平成 21 年 3 月期決算短信に記載のとおり、平成 21 年 3 月期に取り組んだ各種構造改革を徹底し、その効果を顕在化させると同時に、利益ある売上拡大によって成長戦略を推進することを基本方針としております。

この基本方針に沿った事業運営を行うため、本日付で、当社グループの事業会社である J&K カーエレクトロニクス、ビクター、ケンウッドのそれぞれにおいて大幅な組織再編を行いました。

2. 主な組織変更

(1) J&K カーエレクトロニクス株式会社

当社は、昨年 10 月 1 日の経営統合と同時に、ビクターとケンウッドの合弁技術開発会社として平成 19 年 10 月 1 日に設立した J&K テクノロジーズに、カーエレクトロニクス事業に関する両社の開発・生産機能を統合し、統合効果の早期実現に向けた取り組みを推進してまいりました。

昨秋以降は、経済危機の影響により、両社の最大の共通事業であるカーエレクトロニクス事業が当社の大きな課題となっていることをふまえ、本日付で、同社を J&K カーエレクトロニクスに改称し、これまでの開発・生産機能に加え、商品企画・マーケティング機能も統合して、実質的な独立事業会社化をはかります。

加えて、同社の大幅な組織再編を行うとともに、海外の開発子会社や生産子会社の社長人事で両社の交換人事を徹底するなど、体制強化をはかってまいります。

これにより、これまでの協業を完全な事業統合へと深化させ、カーオーディオやカーナビゲーションシステムのプラットフォームの統合など、開発・生産、商品企画・マーケティング機能の一体化による統合効果の早期最大化をはかり、コストシナジーをさらに高めるとともに、カーナビゲーションシステムを中心とする商品ラインアップの拡充をはかってまいります。

なお、ケンウッド、ビクターの各ブランドはこれまでどおり別々とし、それぞれケンウッド、ビクターおよび販売会社を通じて販売いたします。

①市販事業部、OEM 事業部の新設

市販事業、OEM 事業のそれぞれで統合の進化をはかるため、従来の第一事業本部（ケンウッドの市販事業）、第二事業本部（ビクターの市販・OEM 事業）、第三事業本部（ケンウッドの OEM 事業）を再編成

し、両社の市販事業を統合した「市販事業部」と、両社の OEM 事業を統合した「OEM 事業部」を新設しました。

②技術本部の新設

市販事業と OEM 事業の間で技術の共有化、プラットフォームの統合を推進するため、市販向け商品と OEM 向け商品の両技術開発を統括する「技術本部」を新設しました。

③その他

生産・調達本部から品質保証機能を分離し、品質保証統括部を新設するとともに、車載機器用光ピックアップ事業の開発から生産を担うオプティカルコンポーネント統括部を新設いたしました。

(2) 日本ビクター株式会社

市場環境の急速な変化に対応して、事業ポートフォリオの高付加価値化を加速していくため、全社組織体制を見直し、現在の 8 事業部体制から 5 事業部体制に集約いたしました。また、本社部門は集中化によるスリム化と効率化を目指した体制といたしました。

なお、これまでカーエレクトロニクス事業部が担っていたカーエレクトロニクス事業の各機能は、J&K カーエレクトロニクスに統合いたしました。

また、ビクターとケンウッドのホームオーディオ事業に関して、国内外の販売を除く、企画、技術、マーケティング、品質保証、生産等の機能を 7 月 1 日付でビクターに統合いたします。(詳細については平成 21 年 6 月 11 日発表の「日本ビクター株式会社と株式会社ケンウッドにおける、販売を除くホームオーディオ事業の統合に関するお知らせ」をご参照下さい)

①ホーム・エンタテインメント事業部の新設

現行のディスプレイ事業部、AV システム事業部、AVC アクセサリー事業部を統合再編し、「ホーム・エンタテインメント事業部」を新設しました。傘下には、AVC アクセサリー事業部商品と特定顧客向け機器の開発を担当する「AV コミュニケーション統括部」、民生・プロ用ディスプレイ、ホームオーディオ事業に加え AV シアター機器の開発を担当する「ホームシアター統括部」、パーソナル AV・ネットワーク AV 機器の開発を担当する「パーソナル AV 統括部」をおきました。

②デジタル・イメージング事業部の新設

現行のカムコーダー事業部、ILA 事業部およびオプティカルコンポーネント事業部の外販機能を統合再編し、「デジタル・イメージング事業部」を新設しました。傘下には、民生用カムコーダー事業に加えプロ用カメラの開発も担当する「イメージング統括部」、I L A 事業部を移管する「プロジェクター統括部」を新たにおきました。

③ビジネス・ソリューション事業部の新設

プロシステム事業部の体制を見直して「ビジネス・ソリューション事業部」としました。傘下には「プロ AV ソリューション統括部」、「プレゼンテーション統括部」をおき、プロ用機器の販売、プロ用カメラ・モニターを除いた機器の開発・生産・販売を行います。

④ソフト・エンタテインメント事業部の新設

ビクターエンタテインメント株式会社および株式会社テイチクエンタテインメントのコンテンツ事業と、ビクタークリエイティブメディア株式会社、日本レコードセンター株式会社などの受託事業を統括する「ソフト・エンタテインメント事業部」を新設しました。

⑤育成事業部の新設

これまで事業開発部や開発営業部などで担当した 3D モニター、薄型モニター等の育成事業の運営を行う「育成事業部」を新設し、傘下に事業開発統括部、開発営業統括部をおきました。

(3) 株式会社ケンウッド

当社グループの事業会社としてグループ統合運営を促進するため、カーエレクトロニクス事業の各機能を J&Kカーエレクトロニクスに統合し、ケンウッドは収益の柱であるコミュニケーションズ事業の一層の拡大をはかるための組織再編を実施いたしました。

①事業部門

収益の柱であるコミュニケーションズ事業に注力し、一層の業績向上を目指す体制とするため、カーエレクトロニクス市販事業部、カーエレクトロニクスOEM事業部の営業・企画部門はJ&Kカーエレクトロニクスに統合しました。これに伴い、コミュニケーションズ事業部と無線システム事業部の連携を目的としていた連携事業推進プロジェクトの機能は、ケンウッドのミッションそのものとなるため、プロジェクトを発展的に解消しました。

②コーポレート部門

意志決定のスピードを上げるため、コーポレート本部管轄の5つの二段部を3つの部に統合し、社長直轄の二段部制とし、コーポレート本部（一段部）を廃止しました。

以 上